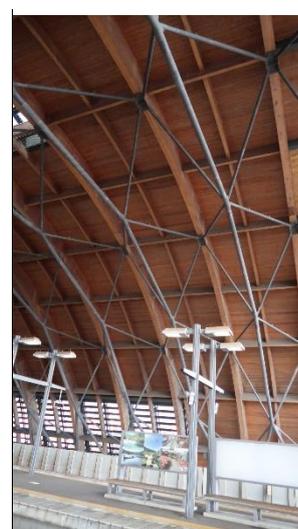


プロジェクト写真



建築概要

施設用途：駅舎（大屋根）

事業主体：高知県 / 発注者：四国旅客鉄道

構造：規模：木造・S造（大屋根），SRC造（北口キャノピー）

延べ面積：3,297m<sup>2</sup>

所在地：高知県高知市栄田町

竣工：2008年

## 取組と設計趣旨

JR 高知駅を高架化して改築するにあたり、新しい高知駅のデザインが、高知県が主体となって組織された景観検討委員会で検討された。建築家の内藤廣氏もアドバイザーとして関わり、県内外の有識者とともに、高知駅とその周辺部のデザイン方針について議論が交わされた。同委員会では県民からのアンケートをもとに、「高知らしさ」をめぐるより細かな要素（大屋根の構造形式や木材の選定、ファサードと駅前広場の構成、照明のあり方など）も検討され、県産の杉を豊富に使った大屋根が計画された。

木造のアーチ梁は、駅の北口広場に設けられる RC の庇（キャノピー）から建ち上がり、ぐるりと弧を描いて、南側高架上の SRC 支柱で受け止める形状となっている。両端の距離は約 45m、桁行は約 61m で国内屈指の大架構の駅空間となり、高知の新たなランドマークとなった。

アーチ梁は、県産の杉の集成材で、鉄骨の下弦材と組み合わせたハイブリッドのトラス構造とで構成されている。市内の加工所で試作された集成材は県立森林技術センターでの試験を経て、大架構を実現できる強度が確認された。

## 木材の供給

木材アーチは、高知県産の杉材を使用し、製材・加工も県内で行われた。

使用した集成材の杉材産地一覧（24 市町村）

室戸市、香美市、高知市、高岡郡中土佐町、安芸郡東洋町、南国市、吾川郡いの町、高岡郡四万十町、安芸郡奈半利町、長岡郡大豊町、吾川郡佐川町、四万十市安芸郡北川村、長岡郡本山町、須崎市、幡多郡大月町、安芸郡馬路村、土佐郡土佐町、高岡郡津野町、宿毛市、安芸市、土佐郡大川村、高岡郡梶原町、土佐清水市

## 設計者

意匠設計：内藤廣建築設計事務所・四国旅客鉄道・四国開発建設・

構造設計：川口衛構造設計事務所

設備設計：四国旅客鉄道・四国電設工業・四国鉄機・明野設備研究所

## アクセス

住所：  
〒780-0061  
高知県高知市栄田町

